

# 実践的な防災・減災対策のための研修実施事業

社会福祉法人 弘前豊徳会

〒 036-8311 青森県弘前市大字大川字中桜川 18 番地 10

## 助成事業の概要

- ①目的 実践的な災害対策研修の実施による地域の福祉・医療分野における減災対策の向上。
- ②時期 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日  
4 月より講師依頼、会場選定・設営、資料作成、広報等の準備を実施。  
9 月 26 日 講演会開催。  
講演会終了後～3 月末までアンケート集計及び「活動報告書」含む事業報告書の作成、配布、情報公開等。
- ③講演会の内容  
タイトル 「災害対策セミナー（実践編）『災害現場経験者から、あなたへ。災害時、本当に役立つ備えとは』」  
実施日時 平成 27 年 9 月 26 日（土）午前 10 時 00 分～午後 3 時 40 分  
※詳細は別添の「活動報告書」に記載。

## 事業の成果

研修は午前・午後の 2 部構成で実施し、研修参加状況は、午前・午後いずれも 57 名ずつ、のべ 114 名の参加となった。参加者内訳は約 7 割が青森県弘前市からであり、残り 3 割は弘前市周辺の 7 市町村であった。

参加者にはアンケートを配布した。回収率は 63.0% である。参加者の年齢構成は 10 代から

60 代まで幅広く、30 代が 29.4% と最も多かった。職業構成は医療・介護従事者が 6 割弱であり、弘前市が育成している防災マイスターの参加もあった。セミナーを知ったきっかけは案内文書（郵送・ファクス）が最も多く 25.5%、次いでチラシ・ポスター（いずれも 21.6%）であった。

上記アンケート集計結果の詳細は別添の「活動報告書」に記載。

講演会に寄せられた声は「活動報告書」のほか、当法人ホームページでも公開している。概ね「勉強になった」「今後に活かしたい」との声が多数である。

研修の成果は、参加者に対し災害対策における意識改革を促すことができた点と、貴重な話を提供する機会を設けることで地域福祉に貢献できた点大きい。特に今回の研修では、実践的・具体的手法に絞りこんだ内容としたことから、即時活用可能な知識を提供できたと考えられる。参加者の中には、「活動報告書」を送付希望する声も聴かれたことから研修によって意識が変化したことが伺える。

また、午後の部に、研修当日飛び込みで参加した女子高校生がいた。当セミナーの案内チラシをどこかで偶然見かけたその子は将来医師になることを目指していたらしく、現役の救命救急最前線に立つ講師の研修に強い感銘を受け、救命医となる決意を新たにしたようであった。地域の福祉・医療の将来を担う若者に影響を与えたこともまたひとつの大きな成果であると考えられる。

## ■ 成果の広報、公表

セミナーの内容は、地元紙「陸奥新報（2015 年 10 月 2 日付）」にて取り上げられた。

当法人では「サンタハウス弘前スタッフブログ」（2015 年 10 月 2 日付）と、弘前豊徳会法人広報誌「サンタジャーナル」（2015 年 9 月 30 日発行）にて概要を公開したほか、具体的な内容と参加者アンケートを集計したものは「活動報告書」としてまとめ、冊子を 300 部作成した。「活動報告書」の配布先は県内外の行政・福祉・医療機関、連携事業所等や、講演会参加者で希望した方にも配布している。当法人のホームページ上ではこの「活動報告書」の他、講演会の様子の写真、アンケートでいただいた参加者の声等を公開している。

## ■ 今後の展開

当法人では法人全体の職員研修教育を統括する部門を創設予定であるが、今回実施した研修内容を活用し、災害対策マニュアルの強化や内部訓練の見直しなど、人材育成に役立てる予定である。

また、研修参加者のアンケート結果を見ると、研修内容（災害を想定した法人レベル・個人レベルでの備蓄、簡易担架の作成等の訓練、アクションカードの作成・導入等々）について、それぞれが所属する組織で活用したいとの意見が多く見られた。

今回、研修に参加しなかった方々、地域団体に対しても、研修内容を伝えるために、当法人が研修で得た気付きをもとに整備するマニュアルや訓練方法等についても、紙媒体やインターネットを通じて広報し、啓発や普及に努めていきたい。